

# “鮮度一番！”

No.167

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1～2 / 明日への一步 ～宮城からの復興だより～第8回
- 2 / ひとことコラム
- 2～3 / 運営委員会で話われたこと
- 4 / 新コーナー 「ちょこっと能楽話」
- 4～5 / 各種研修のお知らせ
- 6 / お知らせ 編集後記

## 明日への一步

～宮城からの復興だより～

第8回

### 「私たちにも、できることがある～被災した女性たちが踏み出す一步」

1月27日(日)、みやぎ生協文化会館アイトピア(石巻市)にて「復興ものづくり交流会 in 石巻」が開催され、私も当日会場にお邪魔してきました。

宮城県内には、仮設住宅などで作られる素敵な手仕事品がたくさんあります。どれも暮らしの再建や愛するまちの復興への願いを込めて、一つひとつ丁寧に作られたものです。

この交流会は、そうしたものづくりに取り組む団体どうしの交流を図り、商品開発や販路拡大のヒントを得られる機会を提供することを目的に、復興みやぎネットワーク会議(みやぎ連携復興センター主催)の生活再建ワーキンググループが企画し、開催されました。

当日は、県内各地から32のものづくり団体が参加しました。会場は商品展示・交流スペースと発表スペースに分けられ、商品展示・交流スペースには所狭しと手仕事品が並べられていました。ポーチやブローチ、木工品など、様々な商品が展示され、どれもおしゃれで手の込んでいます。参加者のほとんどが女性で、「この商品はどのように作っているの?」「どんなところで販売しているの?」と情報交換をしている方々の輪があらちちらにできていました。発表スペースでは、参加団体による事例紹介や、商品開発・販路拡大について学べるプログラムが開かれ、参加者の皆さんは真剣に聞き入り、メモをとっていました。

私も、とある団体のブースで携帯ストラップを購入。作り手である女性から、この商品ができるまでのストーリーを伺うことができました。石巻の仮設住宅に住む女性たちが作るこのストラップは、漁網を補修する縄を編み込んで作っているとのこと。震災前は漁師として働いていた男性たちが、一日も早く漁が再開できるようにと願い、働いているのを見て、「私たちにもできることをしよう」と団体を立ち上げたそうです。漁網用の縄をストラップにするなど最初は思いつかなかったそうですが、サポートしてくれるボランティアとともにアイデアを出し合って、試行錯誤の上、商品ができたとのことでした。これまで海の仕事をしてきた女性たちにとって、慣れない細かい作業は想像以上に大変で、一度は挫折しかけたそうですが、励まし合って作ってきたそうです。女性の語り口から、商品にかける熱意と復興への想いがひしひしと伝わってきました。

震災から2年が経とうとしている今、復興ものづくり団体は、復興に対する関心の低下、復興ものづくり

商品の過多による売り上げの落ち込み、販路拡大や商品開発のノウハウ・情報不足など、様々な課題に直面しています。そのような状況の中、今回の交流会は盛会のうちに終了し、「団体どうしの交流を通して、やる気がさらに高まった」「次回をもっと仲間を連れて来たい」「いつまでも支援を受けるだけではなく、自分たちで立ち上がっていきたい」など、前向きな感想がたくさん寄せられたそうです。暮らしの再建に向けて、一歩ずつ前を進む宮城の女性たち。皆さんもぜひ、買い手や協働製作者となって、応援していただけたら嬉しいです。

支援者のための支援センターTOMONY 事務局  
一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン防災・福祉学習コーディネーター  
菅原 清香

## ・・・ひとことコラム・・・

Y. S

最近、うれしいコトが2つ。

夜中に、久し振りに少し部屋の片づけをしていた際に、昔使っていたレイバンのサングラスが出てきた。かけて鏡に向かうと結構カッコイイ。酒も飲んでいたし。その他のサングラスやスポーツグラスもしてみたが結構な数がある。でも、好みのグラスはチト高かったが軽くするため素材がフレームもレンズもプラスチック。少し傷が付いているが使いやすい。ネクタイと同じでついお気に入りを使ってしまう。そんなグラサンファッションショーしている部屋にアメ横を特集している雑誌があった。その中にアメリカ製のカッコイイサングラスがあった。それもミルスペック(軍用規格)である。欲しいと思って付箋を付けておいた。

そうこうするうちに、2月になって娘夫婦の結婚披露のパーティーがあり、妻と一緒にちょっぴりおしゃべりして横浜の会場へ出かけた。式は昨年鎌倉で上げていたので、今回はリラックスした雰囲気でのパーティーで、友人や会社の上司・同僚など80人余り出席する。娘からはリクエストが2つあった。カメラマンをやって欲しいのと、ちゃんと会費を1人15,000円支払って2人で出席して、というものであった。立食なので、そう期待もしていなかったが、フーズ・ドリンクとも種類・量があり、演出も楽しく、結構、満足のひと時を過ごした。その間、頼まれていた写真もいかに腕を發揮して？バシャ・バシャと撮りまくり。周りからお父さん若あいと、上手とか言われ、すっかり有頂天。リップサービスやダジャレも出るわ、出るわ。会社の同僚に「いいなあ。こんなお父さん・お母さんで」と言われ、凄くうれしいコト。新潟にアゴ・アシ付きで遊びに来なさい！！

翌日は、大型雑貨店やアウトドアショップ回りをして、最後にアメ横の目指すお店「田中商店」に。あれこれ試して、欲にかられてサングラスを2つも購入。ついでにパラシュート生地でできたバッグとキャップも購入！！若い店員さんから似合いますよお。隣にいっぱい買い物をしていたパキスタン人の2人組にも親指を立てられてGoodって言われた気がして、おまけに靴下も2足サービスしてもらい心ウキウキ。家に帰って鏡の前でとっかえ、ひっかえ、とってもううれしいコト。でも、2つともプラスチックレンズ、そんなちっちゃいコトは気にしない！！

皆さんも自分なりのいいコト、素敵なおコト、見つけて生活にメリハリつけましょう。ね。

## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成25年2月6日(水)(AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

本成寺の節分も盛況のうちに終わり、はや立春。

寒さ厳しく春とは名ばかり・・・、いえいえ、もうそこまで来ています。急いでダイエットをして、ぴっぴかの笑顔で迎えましょう！

次回の運営委員会は、3月6日(水)9:30~男女共同参画センターです。どなたでもおいで下さい。

## 1. まちのみんなの交流拠点「みんくる」について

最初に、まんなか応援マネージャー石本史子さんより届いた三条中心市街地エリア情報誌「まんなか vol.21」をながめながらお店の情報を話し合いました。

今や素材にこだわった美味しいケーキは 450 円となったのは良いとして、出来れば階段に手すりをつけて欲しいというのは、安全のため中高年女性の切なる願いです。

また、「みんくる」のチャレンジショップ出店者募集のチラシについては、「5万円の賃借料は、大変だろうね」や「チラシには駐車場ありと書いてあるけれども実際止めにくいよね」等でました。歩く人の少ない一ノ木戸商店街への出店は大変だろうと思いますが、新たなチャレンジをする若者の意欲は、そのまままちの活気へとつながりますので、嬉しいびっくりを期待しています～。

## 2. 各種研修会について

三条市や(財)新潟県女性財団から、各種研修会のお知らせが入っています。4・5ページに詳細を載せましたのでご参加下さい。

先月の広報でお知らせした3月23日の講演会「変わるお葬式、消えるお墓」へは、小柳、西方、田辺、野崎が申し込みました。ご一緒しませんか？

## 3. 会報に載せる原稿について

会員の川瀬弓子さんが、親子で能楽をやっているらしいという情報があり、確認したところ趣味として30年にもなるということでした。「能楽」って何？から始まり、その「能楽」が奥深く面白そうなので、今月号より「ちょこっと能楽話」として連載をお願いしました。とっても楽しいお話しですので、どうぞお読み下さい。また、ご感想等ありましたらお寄せ下さい。

## 4. 審議会等について

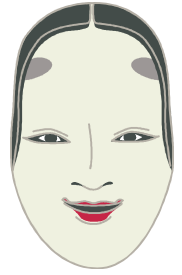
1月18日第1回三条市特別職報酬等審議会が、開かれ野崎が出席しました。

結論は、「依然として厳しい社会情勢における地場産業の経営状況、農業の現況、市の財政状況、一般職の公務員の給与の動向などを踏まえ、今後とも各職責を全うすべく市政進展につとめていただくことを期待し」、議会議員の報酬、市長及び副市長の給料額ともに「据置き」としました。議事録には載りませんが、8年間の据置きということに問題がないのかどうか、もっと突っ込んだ評価をする委員会が必要なのではという余談がありました。議事録は、三条市のホームページで公開されましたのでご覧下さい。

## 5. 燕三条エフエム放送(ラジオは～と 76.8MHz)“ワイワイ女性ひろば”

●本放送 毎週木曜日 11:00～11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

上記番組の平成25年度上半期4月から9月までの担当がはじまります。皆さまのご協力よろしくお願いたします。まずは4月、前期高齢者に突入した仲間や、後期高齢者に向かいつつあるゲストをお招きし、新たなことにチャレンジする姿を紹介しながら高齢社会について考えたいと思います。番組についてのご意見ご感想なんでもお寄せください。お待ちしております。(田辺)



能楽のお話をさせていただきます。

能楽の歴史は三省堂「能楽ハンドブック」によると603年から年表に現れています。古典といわれていますが古くかび臭いものではなく、今平成の時代にもユネスコ世界遺産として多くの愛好者が日本国内はもとより世界中にいます。

むしろいつの間にか高校の授業から日本史や古典が消え、歴史の勉強も近代史がおろそかにされている日本において、現代人の教養から遠い存在になってしまったのはとても残念です。

能楽のとらえ方は人様々でしょうが私が一番惹かれているのはその物語性で、今にも通じる人間的なドラマがいっぱい詰まっています。いくつかご紹介してみましょう。

私が初めてお習いした作品は宝生流初級謡本第三巻「小袖蘇我（こそでそが）」でした。蘇我十郎五郎の物語です。父の仇討ちを企てたのですが弟は母がおもいやって出家をさせようとしていたところ逃げ帰っていたので勘当の身でした。しかしいよいよ時期がきたので最後のお別れに伺いましたが母は兄までも許さず兄弟は泣く泣く出ていくところ、母はたまりかねて声をあげ「あれ留め給え人々よ、不孝をも勘当をもゆるすぞゆるすぞ」と泣きながら出てきます。そこで兄弟母は共にお酒を酌み交わし仇討ちにむかう、というストーリーです。

私は「ゆるすぞゆるすぞ」の台詞をいうとき泣きそうになったことでした。今でもそこはぐっときます。蘇我兄弟は当時から人気だったらしく「夜討蘇我（ようちそが）」「禅師蘇我（ぜんじそが）」などもあります。

もう一つご紹介します「満仲（まんぢゅう）」という作品です。

あるお殿様の息子美女丸は武勇のみたしなんで一向に学問をしません。殿様は忠臣に切り捨てよと命じます。忠臣が途方にくれていると美女丸の学友でもある息子が代わりに私の首を差し出してくれと言います。それを聞いた美女丸はとんでもないと反対し忠臣の両袖に二人の少年がすがるのであるが武士の道は厳しく忠臣は我が子の首を殿様にさしだすというストーリーです。

何という結末でしょう。私はびっくり仰天してドリル1ページをやっとこさっとこやっている三男に「たかちゃん昔でなくてよかったね」と心底言ったことでした。

余談ですが、その子は今宝生流家元の内弟子として修行中です。今年10月には初シテ「生田敦盛」を舞うことになりました。よろしかったら水道橋能楽堂へぜひおこしてください。

能楽の物語はまだまだ沢山あります。人間の様々な心を映し出しているものから動物植物や神様、鬼など様々です。700年前から人の心は変わらないようです。

## 【各種研修のお知らせ】

### ◆三条市より

- 日 時: **2月24日(日)** 1:30~3:30
- 会 場: 三条東公民館 多目的ホール
- 内 容: こころの健康づくり講演会  
「働き盛りのメンタルヘルスについて  
～こころが元気でいられるための秘訣～」
- 講 師: 精神科認定看護師 花田政之さん

- 日 時: **3月16日(土)** 13:30~15:30
- 会 場: 三条市中央公民館
- 内 容: 「もしも家族が要介護になったら  
～介護と仕事の現実～」
- 講 師: 長岡大学教授 菊池いづみさん
- 定 員: 30名
- 保育ルームあり: 事前申込み必要  
(3月7日まで)

◆(財)新潟県女性財団より

- 日 時: **2月28日(木)**/**3月7日(木)**/**3月14日(木)** 13:30~15:30
- 会 場:新潟県女性センター (新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階)
- 内 容:「人生百年物語～転ばぬ先の杖～」
  - ・地域で暮らす～ご近所づきあいのヒント～
  - ・老いを迎える～認知症と事故予防～
  - ・人生棚卸しのススメ～司法書士から見たエンディングノート～
- 対 象:テーマに関心ある成人男女30人
- 参加費:無料 ●申込み・お問い合わせ **新潟県女性財団(電話 025-285-6610)**

- 日 時: **3月2日(土)**  
10:00~17:00
- 会 場:新潟県女性センター
- 内 容:「働く女性のための  
コーチングマネジメント」
- 講 師:丸山結香さん
- 対 象:現在働いている女性20人
- 参加費:5,000円

- 日 時: **3月3日(日)**/**3月9日(土)** 13:30~16:00
- 会 場:新潟県女性センター
- 内 容:人生二毛作時代～男性の生き方学～
  - ・「サラリーマン、プロ野球を創る  
～「昇進」より「夢」を選ぶ～」
  - ・「歌って踊れる公務員  
～行政参加のまちづくり～」
- 対 象:テーマに関心のある成人男性20人
- 参加費:無料



- 日 時: **3月16日(土)**/**17日(日)** 10:00~17:00
- 会 場:新潟県女性センター
- 内 容:トラブル解決力アップセミナー「問題解決能力を磨く！」
- 講 師:鈴木有香さん(法政大学非常勤講師)
- 対 象:テーマに関心ある成人男女20人 ●参加費:10,000円

- 日 時: **3月23日(土)** 13:30~15:30
- 会 場:新潟県女性センター
- 内 容:定期講演会「変わるお葬式、消えるお墓」
- 講 師:小谷みどりさん(第一生命経済研究所主任研究員)
- 定 員:60人(先着順)
- 参加費:500円(三条女性会議会員は無料)
- 保育あり:要申込み 6ヶ月以上10人(先着順)
- 保育協力費:子ども1人200円 ●保育締切:3月9日(土)



## 【おしらせ】

### ◆一ノ木戸商店街に3月16日、 まちのみんなの交流拠点「みんくる」がオープン

「みんくる」はコミュニティ交流、情報発信、チャレンジショップ（物販、飲食）の機能を備えたまちの交流拠点です。和室は趣味の会や集会など、お友達やご近所の方同士で、ぜひご利用ください。また、チャレンジショップは、商売をやりたい、将来お店を持ちたいという方に使っていただきたいお店です。どなたでも出店者として、お客様として気軽に利用できる施設です。皆様お誘い合わせのうえご来場ください。

※チャレンジショップ出店者は随時募集しております。

#### ～ オープニングイベント ～

- と き・・・3月16日（土） 9：30～15：00
- 内 容・・・先着プレゼント、ガラポン抽選会、似顔絵コーナーなど盛り沢山
- 問合せ先・・・一ノ木戸商店街事務局 0256-33-2065

### ◆みんなで楽しく英語劇発表会

小学生から高校生までの、総勢23名が不思議の国のアリスをアレンジした劇を、英語で発表します。どなたでも無料で鑑賞できます。お気軽にお越し下さい。

- と き・・・3月24日（日）14：00開演
- 場 所・・・三条市総合福祉センター
- 問合せ先・・・三条市役所 地域経営課  
0256-34-5511（内線403）



#### 編集後記：

春よ来い 早く来い。孫と一緒に歌えるようになり、ときどき春を呼ぶハーモニーしています。

今号から新コーナーがはじまりました。「ちょこっと能楽話」、春を迎える心の準備に、ちょこっと能の世界にひたってみてはいかがでしょうか。他にも情報が満載の167号です。春はもうすぐそこまできています。（原）

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>